

【授業科目】精神看護学実習

Psychiatric Nursing Practicum

担 当 教 員		開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業 形態	実務 経験	オフィス アワー	教職員への 授業公開
大西 信行、松田 陽子、永住 沙樹		3 年次 後 期	必 修	2	9 0	実 習	あり	巻末 掲載	否
授業概要 (内容と進 め方) 及び 課題に対す るフィード バック 方法		授業概要／精神看護学で学んだ知識・技術・態度を統合し、自己洞察と対象の理解を深め、看護活動と精神保健活動が実践できる基礎的能力を養い、健康の保持・増進における精神看護の役割と機能が理解できることをめざす。そこで本実習では精神科病院に入院している患者を対象とし、一人の患者を受け持ち、対象の治療や療養生活に合わせた看護を展開する。実習中にはカンファレンス、グループスーパービジョン、個別スーパービジョンを受けながら、対象の看護問題や患者理解、自己に対する課題を明確にしていく。 課題に対するフィードバック方法／毎日提出された記録用紙にコメントを記入しフィードバックする。カンファレンス時に適宜必要な内容はグループ全体にフィードバックする。必要に応じグループスーパービジョン、個別スーパービジョンを実施する。 ＊実務経験を持つ教員が授業を進める。							
授業の 位置づけ		本学のディプロマ・ポリシー①「看護の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき看護を実践できる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)		1. 精神の健康問題が生活に及ぼす影響を理解し、患者の状態に応じた援助ができる。 2. 精神障がいをもつ患者の治療の場としての環境について理解し、それに応じた援助ができる。 3. 治療的コミュニケーション技術を活用して看護援助を行うことができる。 4. 自己と対象の理解を深めるために、自己の内面に気づき、自己洞察を行うことができる。 5. 継続看護の視点で、患者をとりまく地域精神医療と社会復帰活動の役割と機能が理解でき現状の課題を挙げることができる。							
時間外学習 に必要な 内容・時間		※詳細については、実習要項を参照してください。							
授業計画		・実習期間は、令和5年9月11日～令和6年3月1日のうち10日間 ・実習時間は、原則として、9：00～17：00 ※詳細については、実習要項および実習オリエンテーション時配布資料を参照してください。							大西、松田、 永住
評価方法 評価基準		実習内容60%、記録40% ※詳細については、実習要項を参照してください。							
学生への 助言等		・実習は休まずに出席することが最も大切です。 ・実習中には対象とともに外出やスポーツなどの活動に参加する場合があります。							